



こまえ

第 78 号

し ろ ば ら

平成 26 年 3 月 25 日 発行
 狛江市明るい選挙推進協議会
 狛江市選挙管理委員会
 東京都狛江市和泉本町 1-1-5
 電話 (3430) 1111
 選挙人名簿登録者数
 65,316 人

昨年平成二十五年三月二十
 二日総務大臣賞を受賞しまし
 た。受賞は明るい選挙推進協
 議会委員としてです。授賞式
 は都庁で行われ、受賞は三多
 摩からは十二名が受賞されま
 した。この受賞した方の中か
 ら東京都全体で四名の方が藍
 綬褒章を受章され、その中の
 一人に私が選ばれました。大
 変光栄な事と同時に、受章の
 重みを感じております。この
 手続きは狛江市選挙管理委員



総務大臣賞 藍綬褒章
 を受章して
 岩田かほる

会事務局で推薦し、東京都選
 挙管理委員会事務局で決定さ
 れたそうです。
 秋の藍綬褒章は平成二十五
 年十一月六日に都庁で伝達式
 があり都知事より表彰状と褒
 章を頂きました。十一月十三
 日には皇居に参内し皇居豊明
 殿春秋の間で天皇陛下に拝謁
 とお言葉を賜りました。
 狛江市長にお会いしてご報
 告し、喜んで頂きました。
 顧みますと三十五年の長
 きに渡り、これもひとえに明
 りい選挙推進委員、推進協議
 会委員の皆様方のご協力のお
 蔭と感謝しております。これ
 から後に続く方々のためにな
 ればと思っております。栄あ
 る受章が大勢の方々からお祝
 いや祝電を頂き誇りと事の大
 きさを知りました。褒章受章
 の際には夫婦共々同伴出来良
 かったと思っています。
 狛江市明るい選挙推進協
 議会を代表していただいた藍
 綬褒章と思っております。今
 後とも推進協議会委員として、

会事務局で推薦し、東京都選
 挙管理委員会事務局で決定さ
 れたそうです。
 秋の藍綬褒章は平成二十五
 年十一月六日に都庁で伝達式
 があり都知事より表彰状と褒
 章を頂きました。十一月十三
 日には皇居に参内し皇居豊明
 殿春秋の間で天皇陛下に拝謁
 とお言葉を賜りました。
 狛江市長にお会いしてご報
 告し、喜んで頂きました。
 顧みますと三十五年の長
 きに渡り、これもひとえに明
 りい選挙推進委員、推進協議
 会委員の皆様方のご協力のお
 蔭と感謝しております。これ
 から後に続く方々のためにな
 ればと思っております。栄あ
 る受章が大勢の方々からお祝
 いや祝電を頂き誇りと事の大
 きさを知りました。褒章受章
 の際には夫婦共々同伴出来良
 かったと思っています。
 狛江市明るい選挙推進協
 議会を代表していただいた藍
 綬褒章と思っております。今
 後とも推進協議会委員として、



努力して参ります。
 以上、ご報告いたします。
 藍綬褒章の賞状と褒章



祝成人

今年は六九四名が新成人となりました。(男性三四六名・女性三四八名)

一月十三日にエコルマホールで成人式が開催され参加者は三七一名でした。(男性一八一名・女性一九十名)

推進委員ではこの人たちが選挙で投票し、住みよい社会を構築してくれるものと期待しています。

新成人として選挙権を得た感想

小川 麻奈美

成人式を迎え、私たちは成人として社会から沢山の権利と義務を与えられました。

その中で選挙は、成人を迎えた誰もが一票として政治に参加できる権利があると同時に、私たちが暮らしていく環境を大きく左右する大切な選択となります。

私は、選挙権を得てからこれまで以上に世の中の動きに興味を持つようになりました。政治に自ら参加するというのは責任も感じますが、私自身が投票した一票が明るい未来に繋がることを信じています。これからの出会いや繋がりを大切に、社会を担う一員として選挙に参加していきたいです。

栗山 雄磨

私達は、成人式を迎え社会から大人と認められ、様々な権利や義務が与えられました。選挙権はそのひとつです。

選挙は民主主義の基本であり、選挙に参加することで私達の意見がはじめて反映されるのです。私達が自らの手で一票を投じ、より良い政治を、そして未来のある日本を目指していかなければならないのです。

私は必ず選挙に行き、日本の未来を本気で考えてくれる方に投票したいと思います。多党化が進む中、政治は複雑化していますが、社会の一員として今後の日本を担えるようになりたいと思っています。



市民まつり

パレード参加



平成二十五年十一月十日、市民まつりが開催され、選挙啓発の一環としてパレードに、選挙管理委員・明るい選挙推進委員の総勢十七名が参加しました。パレードのコースは、市民グラウンドからメイン会場の第一小学校までの道のりで沿道からたくさんの方々の手を振っていただきました。

東京都知事選挙狛江市年代別投票率						
平成26年2月9日						
年代	当日有権者数	当日投票者数	期日前投票者数	不在者投票者数	投票者数	投票率
20歳	656	214	37	1	252	38.41
21～24歳	3,254	740	161	0	901	27.69
25～29歳	4,955	1,209	334	4	1,547	31.22
20代計	8,865	2,163	532	5	2,700	30.46
30～34歳	5,479	1,780	464	10	2,254	41.14
35～39歳	5,982	2,284	527	5	2,816	47.07
30代計	11,461	4,064	991	15	5,070	44.24
40～44歳	6,419	2,578	556	14	3,148	49.04
45～49歳	6,117	2,573	566	1	3,140	51.33
40代計	12,536	5,151	1,122	15	6,288	50.16
50～54歳	4,768	2,137	483	3	2,623	55.01
55～59歳	4,119	1,953	495	3	2,451	59.50
50代計	8,887	4,090	978	6	5,074	57.09
60～64歳	4,534	2,119	638	8	2,765	60.98
65～69歳	4,707	2,421	699	17	3,137	66.65
60代計	9,241	4,540	1,337	25	5,902	63.87
70歳以上	13,493	6,020	1,665	103	7,788	57.72
合計	64,483	26,028	6,625	169	32,822	50.90

研修会に参加して

東京都市明るい選挙推進協議会連合会
第4ブロック明るい選挙推進委員会合同研修会

楫取 静子

十一月の暖かな午後、調布市で行われた「第4ブロック明るい選挙推進委員会合同研修会」に町田、調布、府中、多摩、稲城、狛江市の各委員が参加して、明治学院大学法学部教授である川上和久氏による「投票率と投票質 これからの政治参加」についての話を聞いてきました。

投票率は、テレビ・ラジオ新聞の報道が情報源として非常に大きな影響力がある。さらに、投票率を上げる為投票時間の延長、期日前投票を行い一連の効果はあったということです。
しかし、若年層は選挙に対する関心が低いので「ネット

選挙解禁」をしたが、ネットで選挙情報は必ずしも定着していなかったようです。

やはり、焦点は「若年層」で若者一人ひとりがコミュニケーションへの新たな関わり方を発見し、自分たち自身で行動してゆけば投票率向上につながるというお話でした。

私達推進委員は、これから投票質を高める為に、子ども達に投票の体験や社会参加の啓発をしていくことが大切な事だと思いました。

東京都庁

八巻 直美

昨年十月二十二日、東京都庁にて選挙管理委員と明るい選挙推進委員との合同日帰り研修が行われました。

講演会では、東京都選挙管理委員会事務局の小倉由紀広報啓発担当課長に講演をさせて頂きました。

投票率に関するいくつか

編集後記

の取組及びここ十数年の成果については、平成十年、投票時間二時間延長。平成十六年、期日前投票。平成二十五年、インターネットによる選挙運動の解禁、成年被後見人の選挙権回復がありました。若い人の投票について考える事の必要性和、一所懸命やってもすぐに投票率という数値に反映されるものではない事が今わかりました。

東京都庁内施設見学もあり、とても貴重な体験をさせて頂きました。

平成二十六年は選挙の無い年の筈でした。だがしかし、二月九日、しかも大雪の翌日に東京都知事選挙が行われました。

悪天候ではあっても投票所へ子供連れの方も多く足を運んでいただきました。子供達は一様に好奇心旺盛で投票所内を不思議そうに眺めていました。その心を、大人になっても持ち続けてほしい。そう願った立会いの日でした。「しろばら」七八号の発行に際して、ご寄稿下さった方々をはじめ多くの皆様のご協力を頂きありがとうございます。

推進委員会広報部

